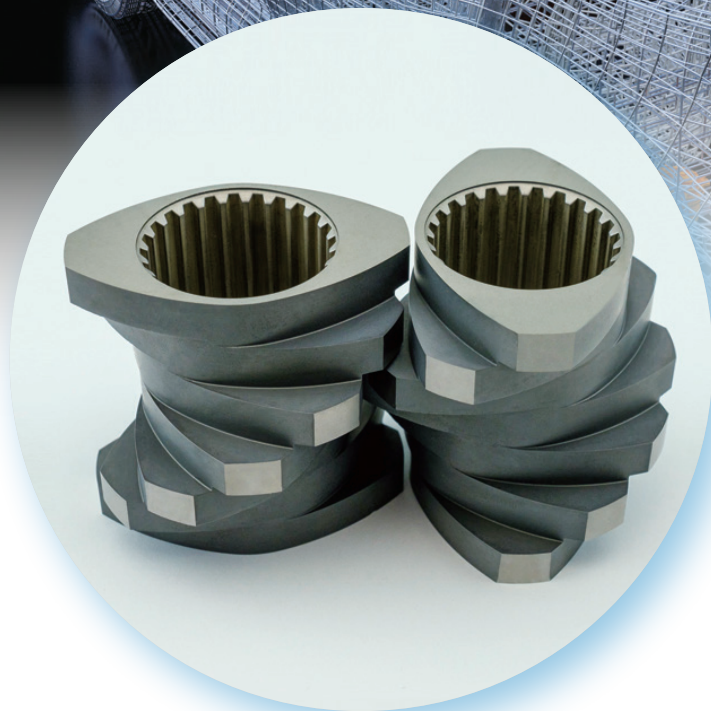
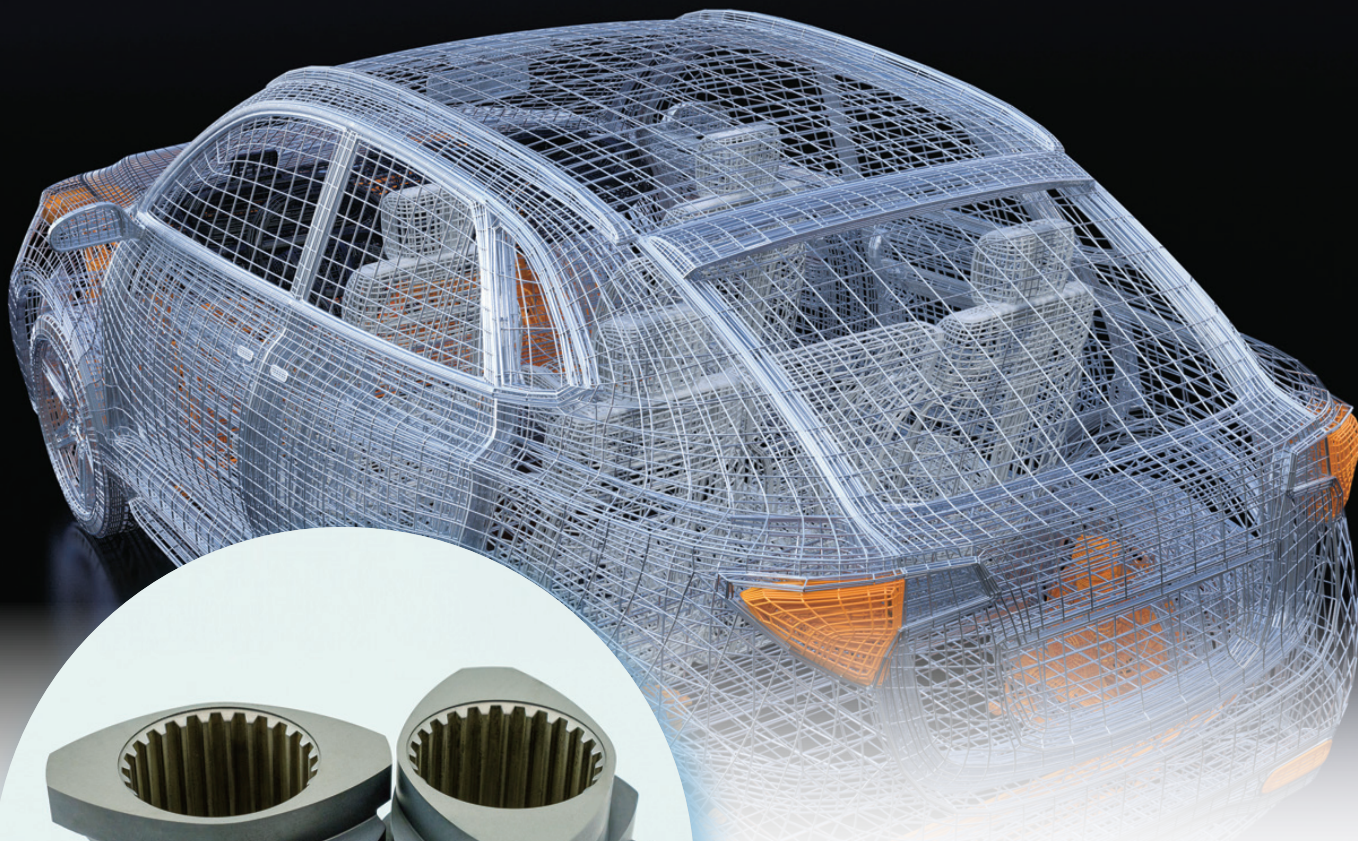




KOKORO
意style

第110期 第2四半期報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

●二軸押出機用耐摩耗部材『MAZELLOY』

強化プラスチックの製造装置である二軸押出機用の耐摩耗部材として一般に合金工具鋼が使用されますが、短寿命という課題があります。当社が開発した新材料「MZ01」は、“鉄より軽量かつ高い衝撃性を持つ”という特徴があり、現部材の置き換えにより飛躍的な長寿命が期待できます。今後の自動車軽量化に貢献し、低炭素社会の実現を支えていきます。

 **日本タングステン株式会社**

企業理念

Our Corporate Philosophy

日本タングステンは、
世界の人々と従業員の
明るい未来を実現するために

マテリアルからはじまる価値創造に
挑戦し続けます。

常にNo.1を目指し、かけがえのない存在で
あり続けます。

行動規範

Our Way

私たちは、情熱を持って、
失敗を恐れずチャレンジします。

私たちは、当事者意識を持って、
すぐ行動しやり遂げます。

私たちは、相手の立場になって、
期待以上で応えます。



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く
お礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の一日も早
い収束と、皆様のご健康を心からお祈り申し上げ
ます。

当第2四半期では、新型コロナウイルス感染症拡大
の影響が続く中で、新材料の市場投入や、新型コロナ
ウイルス感染症の影響を最小限に抑えるべく経営改
善施策を強化する等の取り組みを進めてまいりました。

新しい価値観が求められる時代の中、次世代マテリ
アルのパイオニアとして更なる挑戦を続けて、2031年
の当社創立100周年へと繋げてまいります。

今後とも日本タングステングループを何卒よろしく
お願い申し上げます。

2020年12月

取締役社長 後藤信志

注力すべき開発商品について優先的にリソースを投入するなど、新型コロナウイルス感染症収束後の業績回復に向けた取り組みを強化してまいります。

Q 当第2四半期の決算のポイント等について教えてください。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、減収減益となりました。

当第2四半期における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により国内・海外ともに経済活動が停滞する中、一部の市場で持ち直しの動きは見られるものの、設備投資の抑制等もあり、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの重点市場につきましては、半導体・電子部品市場がデータセンター向けの需要が引き続き好調で堅調に推移しました。自動車市場は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け減収となりましたが、第2四半期の後半に入り、自動車の生産回復を背景に徐々に回復しております。また、衛生・医療市場は、顧客の設備投資抑制が大きく、低調に推移しました。

これらの結果、当第2四半期の主な連結業績は、売上高47億5百万円(前年同期比17.6%減)、営業損失7百万円(前年同期は営業利益2億67百万円)、経常利益1億36百万円(前年同期比61.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億48百万円(同44.4%減)となりました。

なお、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑えるため、Web会議を利用した打合せや

案件フォロー等の営業活動を継続しております。また、二軸押出機用耐摩耗部材等の注力すべき開発商品については、優先的にリソースを投入する取り組みを行う等、今後の業績回復に向けた取り組みを強化してまいります。

Q 通期業績見込みやその前提となる今後の市況予測についてお聞かせください。

衛生・医療市場は低調に推移、自動車市場は回復基調へのリターン、半導体・電子部品市場は好調維持を見込んでいます。

8月5日の第1四半期決算発表時に公表した通期の業績予想を据え置き、連結売上高98億円(前期比15.6%減)、営業利益30百万円(同94.0%減)、経常利益3億60百万円(同46.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益2億90百万円(同51.6%減)を見込んでおります。

当社の重点市場の動向については、「衛生・医療市場」では、NTダイカッターが当第2四半期以降において顧客の設備投資抑制が更に進むと想定されることから、低調に推移することが見込まれます。他方、「半導体・電子部品市場」は、当第2四半期以降も新型コロナウイルス感染症の影響が限定的であり、ハードディスクドライブ用磁気ヘッド基板は好調に推移する見込みです。また、「自動車

市場」は、新型コロナウイルス感染症の影響が依然残るものの、当第2四半期の後半からは自動車の生産回復を背景に、徐々に回復基調にあります。

Q 下半期に向けた経営展望等についてはいかがですか。

中長期的な企業価値向上のための 重要な1年と位置付けています。

今年は、「日本タングステングループ2020中期経営計画」の最終年度となっておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大による市況悪化の影響が大きく、2020年度計数計画の達成は厳しい状況にあります。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による市況悪化に対応するほか、2031年の当社創立100周年に向けた長期ビジョンの検討など、中長期的な企業価値向上のための重要な1年と位置付けております。

下半期の展望については、更に業績を回復させるべく、早期に開発新商品を市場に投入するため、開発製品の優先順位をつける新たな取り組みを行うとともに、間接部門を含めコスト改善活動等の経営改善施策を積極的に進めてまいります。

また、この10月には、二軸押出機用耐摩耗部材“**MAZELLOY**”について、新たに長寿命かつ軽量な新材料「MZ01」をリリースすることができました(※詳細はP4ご参照)。

当社グループはこれからも、次世代マテリアルのパイオニアとして、未来に向けて挑戦を続けてまいります。株主の皆様のご理解とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

誠に遺憾ではありますが、 当第2四半期末の配当は見送りとさせて頂きました。

コスト改善活動等の経営改善施策を進めましたが、当第2四半期の業績が悪化したため、誠に遺憾ではありますが、当第2四半期末の配当は見送りとさせて頂きました。期末では1株当たり40円の配当を予定しております。なお、2020年2月の取締役会において決議した自己株式の取得につきましては取得が終了し、同年2月13日から8月31日の期間に、総数37,400株・総額67百万円を取得いたしました。

今後とも機動的な資本政策に努め、資本効率の向上、株主様への一層の利益還元を図ってまいります。

二軸押出機用耐摩耗部材“MAZELLOY”の 新材料「MZ01」開発のお知らせ

自動車の軽量化に貢献し、
低炭素社会の実現を支える

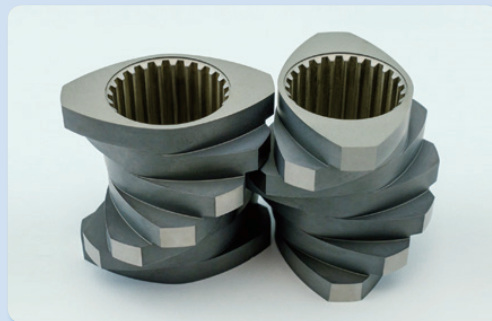
二軸押出機用
耐摩耗部材

MAZELLOY

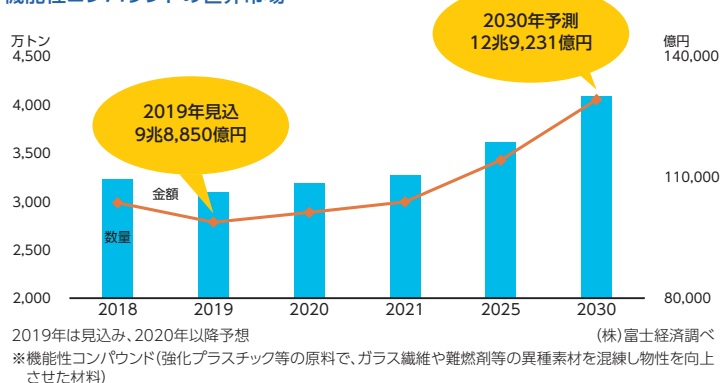
■ 自動車軽量化のカギとなる強化プラスチック業界

ガラス繊維や炭素繊維、その他無機粉末などを複合化させた強化プラスチックは、その軽さと優れた機械特性から、自動車部品や電子部品用の材料として今後更なる需要拡大が期待されています。

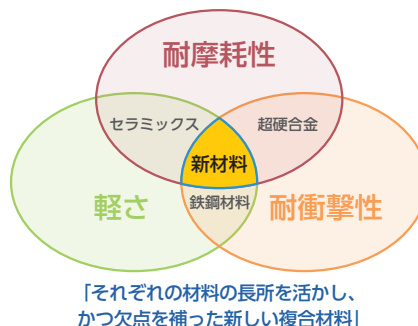
自動車の軽量化、IoT技術の発展は、今後の持続可能な社会構築に大きな影響を与えるトレンドであり、ますますの技術革新が求められています。



機能性コンパウンドの世界市場



新材料の開発コンセプト



■ 業界共通の困りごとを解決する新材料

強化プラスチックの生産には必ず二軸押出機が使われます。近年の樹脂生産量増大や、特性向上のために添加される硬質素材の添加量増加に伴って、二軸押出機の部材摩耗が深刻化していることがわかっています。

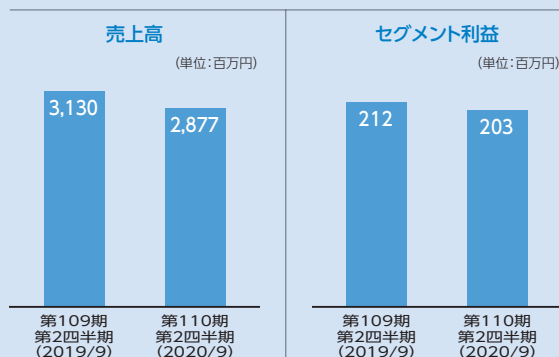
二軸押出機用耐摩耗部材には、“鉄より軽量かつ高い耐衝撃性を持つ”という特徴が必須で、これに加えて現状広く普及している合金工具鋼からの飛躍的な長寿命化が求められています。

このような業界共通の困りごとを解決すべく、当社では3年間の構想・開発期間を経て、「軽さ」「耐衝撃性」「耐磨耗性」の3つの特徴を兼ね備えた新材料『MZ01』を開発しました。当社では、強化プラスチックの市場拡大のタイミングに合わせて『MZ01』を市場投入し、自動車の軽量化、5Gの普及をはじめとするIoT技術の発展に寄与し、今後の持続可能な社会実現を支えてまいります。

機械部品事業

衛生用品製造設備であるNTダイカッターは、新型コロナウイルス感染症の影響等により顧客の新規設備投資を控える動きが強まり減収となったものの、情報機器関連のハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板は、データセンター向けの大容量HDDの需要が引き続き好調で増収となりました。

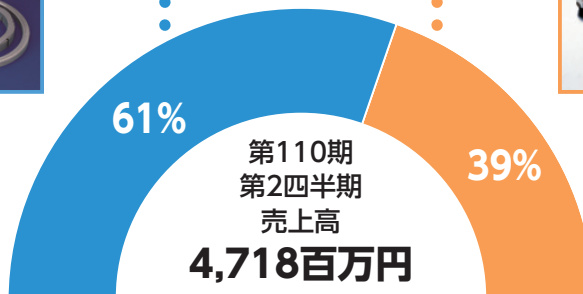
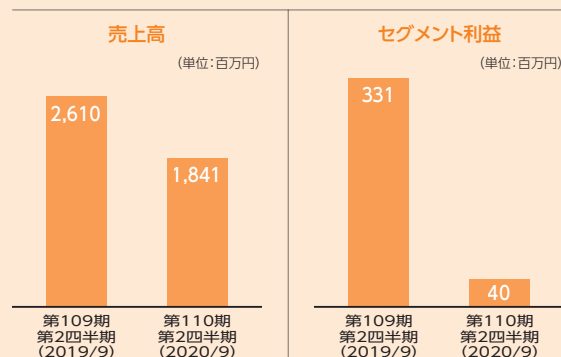
この結果、機械部品事業の**売上高は前年同四半期比8.1%減の28億7千7百万円**となり、**営業利益は同4.2%減の2億3百万円**となりました。



電機部品事業

自動車関連の抵抗溶接電極及びEV用接点は、新型コロナウイルス感染症の影響により世界的な自動車販売台数が大幅に減少したことが響き減収となりました。医療関連部材のカテーテル用タングステンワイヤーは、ほぼ横ばいで推移いたしました。

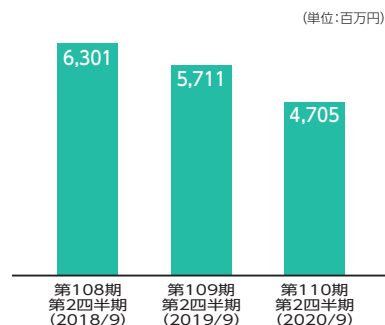
この結果、電機部品事業の**売上高は前年同四半期比29.4%減の18億4千1百万円**となり、**営業利益は同87.7%減の4千万円**となりました。



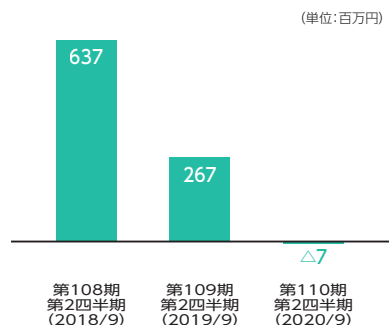
(注)売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額です。

業績等の推移

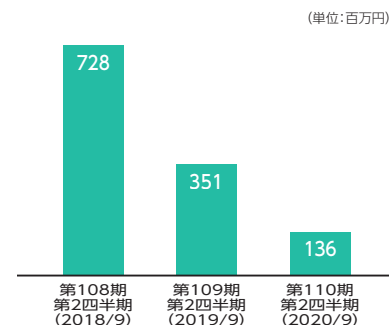
売上高



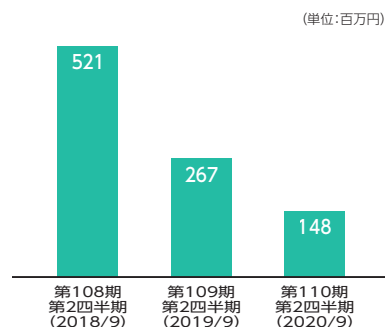
営業利益



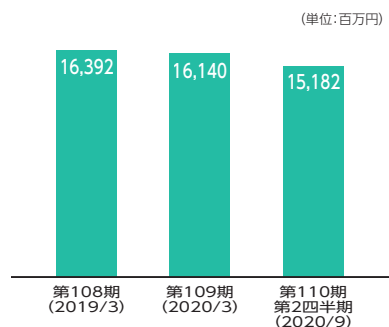
経常利益



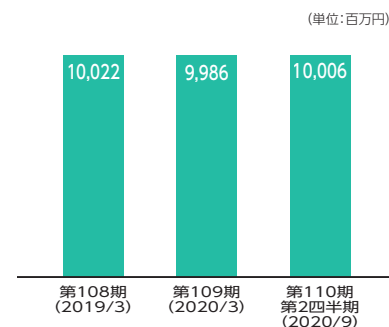
親会社株主に帰属する四半期純利益



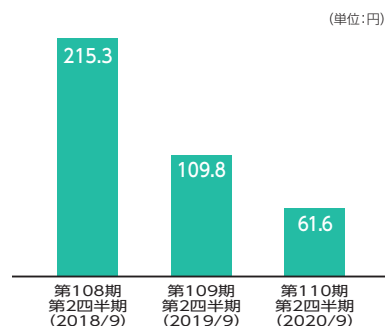
総資産



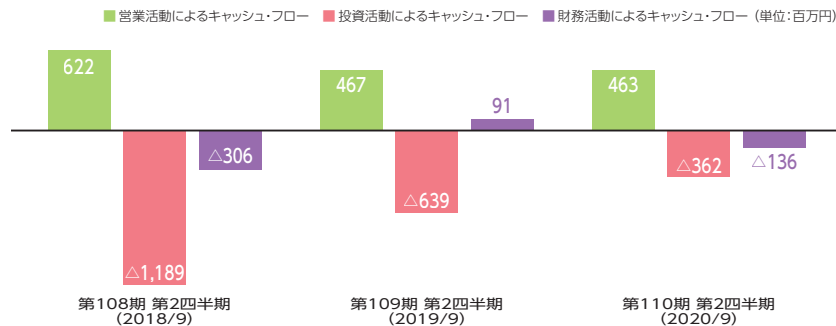
純資産



1株当たり四半期純利益



キャッシュ・フローの状況



● 会社の概要

2020年9月30日現在

設立	1931年(昭和6年)4月1日
資本金	25億950万円
従業員数	535名(連結)
本社	福岡市博多区美野島一丁目2番8号
事業所	事務所：東京・大阪・刈谷 工場：基山・飯塚・宇美

役員 2020年10月1日現在

取締役社長	後藤 信志	代表取締役 社長執行役員
取締役	毛利 茂樹	常務執行役員 事業・開発技術統括責任者 品質保証担当
取締役	大島 正信	執行役員 経営企画担当
取締役	山崎 洋	執行役員 経営管理本部長 コンプライアンス担当
取締役	中原 賢治	執行役員 機械部品事業本部長
社外取締役	豊馬 誠	九州電力株式会社 代表取締役副社長執行役員
取締役	今里 州一	監査等委員(常勤)
社外取締役	久留 和夫	監査等委員 久留公認会計士事務所 代表
社外取締役	小田 昌彦	監査等委員
社外取締役	杉原 知佳	監査等委員 三浦・奥田・杉原法律事務所 共同経営者
	三島 彰	執行役員 電機部品事業本部長
	江原 清貴	執行役員 事業支援本部長 兼 基山工場長
	原口 寿	執行役員 経営管理本部副本部長 兼 経営管理部長

関係会社 ■ 連結子会社 ● 持分法適用関連会社

国内	■ 株式会社福岡機器製作所 ■ 株式会社昭和電気接点工業所
中国	■ 上海恩悌三義美業发展有限公司
アメリカ	■ NIPPON TUNGSTEN USA, INC.
イタリア	■ NIPPON TUNGSTEN EUROPE S.r.l.
ブラジル	■ NIPPON TUNGSTEN DO BRASIL SOLUÇÕES DE CORTE LTDA.
タイ	● SVニッタン株式会社

株主メモ

決算期	3月31日
基準日	定時株主総会、期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要あるときはあらかじめ公告して定めます。
定時株主総会	6月
上場証券取引所	東京(2部)、福岡
証券コード	6998
公告方法	当社のホームページ(https://www.nittan.co.jp/)に掲載します。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

● 株式の状況

2020年9月30日現在

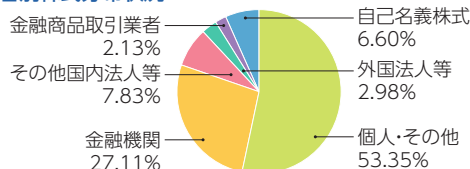
発行可能株式総数	10,000,000株
発行済株式の総数	2,577,760株
単元株式数	100株
株主総数	2,970名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・九州電力株式会社及び九州電力送配電株式会社口)	166,665	6.92
株式会社福岡銀行	107,262	4.45
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	103,000	4.27
日本タングステン従業員持株会	93,382	3.87
日本タングステン取引先持株会	69,800	2.89
みずほ信託銀行株式会社	64,300	2.67
明治安田生命保険相互会社	60,170	2.49
株式会社西日本シティ銀行	50,917	2.11
株式会社佐賀銀行	50,000	2.07
宇部マテリアルズ株式会社	40,000	1.66

- 上記のほか、自己株式を170,039株保有しております。
- 持株比率は自己株式(170,039株)を控除して計算しております。
- 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・九州電力株式会社及び九州電力送配電株式会社口)の持株数166,665株は、九州電力株式会社から同信託銀行へ信託設定された信託財産であります。信託契約上当該株式の議決権は九州電力株式会社及び九州電力送配電株式会社口が留保しております。

所有者別株式分布状況



株式事務手続きに関するお問い合わせ先

● 証券会社等に口座をお持ちの株主さま

住所・氏名等、届出事項の変更 配当金受取方法の変更 単元未満株式の買取請求 等	お取引の証券会社等までお問い合わせください。
未受領の配当金のお受取について	下記株主名簿管理人(みずほ信託銀行証券代行部)までお問い合わせください。

● 特別口座をお持ちの株主さま

各種手続き等	下記特別口座管理機関(みずほ信託銀行証券代行部)までお問い合わせください。
--------	---------------------------------------

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

みずほ信託銀行 証券代行部

〒168-8507 東京都杉並区泉二丁目8番4号

☎0120-288-324 (受付時間 土・日・祝日を除く9:00~17:00)